



# The Baseball Hall of Fame and Museum

## 公益財団法人 野球殿堂博物館

### 野球殿堂入り表彰式

館長 廣瀬 信一

#### ～競技者表彰～



左から、鈴木 大地選手、伊東 勤氏、熊崎 勝彦理事長、星野 仙一氏、平松 政次氏、嶋 基宏選手、筒香 嘉智選手

競技者表彰で野球殿堂入りをされた、伊東 勤さん、星野 仙一さん、平松 政次さんの表彰式を7月14日(金)にナゴヤドームで開催されたオールスター第1戦の試合開始前に行いました。

競技者表彰・プレーヤー表彰で選出された、現在ロッテ監督の伊東さんは、1981年ドラフト1位で西武に入団し、3年目からレギュラーとなりました。捕手として80～90年代の西武黄金期を支え、パ・リーグ記録となった連続守備機会無失策の堅守と、投手の力を最大限に引き出すリードで、チームのリーグ優勝14回、日本一8回に貢献されました。

エキスパート表彰で選出された星野さんは、1968年ドラフト1位で中日に入団。現役時代は闘志あふれる投球で人気を集め、74年のリーグ優勝に大きく貢献されました。中日監督として、88、99年と2回のリーグ優勝。2003年には阪神監督として、18年振りのリーグ優勝に導きました。11年から楽天の監督となり、13年には球団創設9年目のチームを、初の日本一に導きました。同じく、エキスパート表彰で選出された平松さんは、1965年の選抜大会に岡山東商業のエースとして出場し、優勝。社会人野球の日本石油に進み、67年の都市対抗で優勝に貢献し、橋戸賞を獲得した後に大洋に入団。69年から12年連続2桁勝利をあげ、70年には沢村賞を受賞。「カミソリ・シュート」を武器にエースとして活躍されました。

両軍の選手・監督・コーチが各々ベンチ前で整列し、場内アナウンスで伊東さん、星野さん、平松さんがスクリーン映像の紹介とともに登場されました。始めに、(公財)野球殿堂博物館・熊崎 勝彦理事長より記念のレリーフのレプリカが各々に贈られました。次に、伊東さんにはロッテの鈴木 大地選手から、星野さんには楽天の嶋 基宏選手から、平松さんには横浜 DeNA の筒香 嘉智選手から、花束が贈られました。

記念撮影に続き、伊東さんから「まだ現役監督としてユニホーム姿で臨めて幸せ」、そして熊本県出身で今年の熊本地震、今年の九州北部の豪雨に触れ「一日でも早い復旧、復興を願っています」、星野さんから「幸せな人生。野球界のために尽力していきたい。死ぬまでその思いで野球界を支えて行こう思う」、平松さんは「最高の栄誉である殿堂入りができて大変光栄です」と挨拶されました。そして最後に改めて、満員の客席から受賞された三人に対し大きな拍手が送られました。

～特別表彰～



左から 明大・中野 速人主将、郷司 英之氏、郷司 陽子氏、郷司 信之氏、熊崎 勝彦理事長、鈴木 貴彦氏、鈴木 嶺太氏、東大・山田 大成主将

特別表彰で野球殿堂入りされた故・郷司 裕<sup>ごうし ひろし</sup>さん故・鈴木 美嶺<sup>みれい</sup>さんの表彰式を5月27日(土)に、学生野球の聖地である神宮球場で、早慶戦の試合開始前に行いました。

郷司さんは、1932年北海道に生まれ、明治高校在学時に同高の野球部監督だった島岡 吉郎氏から審判になることを勧められました。明治大学野球部で、審判として技術を磨き、卒業後は東京六大学をはじめとして、高校、社会人のさまざまな大会で、審判を務められました。特に高校野球では、69年夏の松山商業対三沢高校、延長18回引分となった決勝戦と決勝再試合で、ともに球審を務めるなど、春は16回、夏も15回、決勝戦の審判を任されました。また、現役引退後も、審判員の技術向上に尽力するとともに、後進の指導にも力を注ぐなど、アマチュア野球界の発展に貢献されました。

鈴木さんは、1921年兵庫県に生まれ、太平洋戦争中に東京大学野球部で活躍されましたが、戦後は東京六大学野球連盟の審判員や規則委員として、また毎日新聞の運動部記者としても活躍されました。55年12月、プロとアマの野球規則書の合同化が決定し、その編纂委員として参画、規則書の執筆担当者として『1956年度公認野球規則』の発行に尽力し、以後亡くなるまでの長い間、『公認野球規則』製作の中心的役割を果たしました。また、『わかりやすい公認野球規則』や『野球ルール千夜一夜』など、規則に関する書籍を著し、野球規則の正しい理解、普及に努めました。

早慶両チームの選手・監督が各々ベンチ前で整列し、場内アナウンスで郷司さんのご子息の信之さん、続いて鈴木さんのご子息の貴彦さんがスクリーン映像の紹介とともに登場されました。はじめに、(公財)野球殿堂博物館・熊崎 勝彦理事長より記念のレリーフのレプリカがそれぞれに、そして信之さんには明治大学・中野 速人主将から、貴彦さんには東京大学・山田 大成主将から花束が贈呈されました。記念撮影に続き、お二方がそれぞれ感謝の言葉を述べられました。

## 殿堂入りの人々を語る(56)

### 父の思い出

郷司 信之 (2017年野球殿堂入り 郷司 裕氏次男)



郷司 裕氏

昨年12月で父が亡くなり10年の月日が経った翌月に、名誉ある野球殿堂入りの知らせをいただきました。家族一同驚きと嬉しさで、まずは各関係者の方々に感謝と御礼を申し上げたい気持ちで一杯でした。

父は、北海道釧路市に生まれ、3歳の時に東京に移住したと聞いております。小さい頃からとにかく野球が好きだったと話しておりました。

父の野球人生が選手から審判に変わったのは、旧明治中学の頃身体を壊し、当時監督であった島岡 吉郎御大(1991年野球殿堂入り)より「お前は選手ではダメだから審判をやれ」というその一言からで、半世紀に渡る審判生活が始まりました。亡くなるまで島岡 御大を慕っておりました。

明治大学卒業後は、NHKに入局し運動部に配属されましたが、祖父の代より会社を経営しており、長男で或るが故に後を継ぐ事を余儀なくされ家に戻りましたが、大好きな野球をあきらめられず、それを機に審判活動中心の生活に更に拍車が掛かりました。

プロの審判員にならなかったのは、事業継承のためだと言っておりました。

私が小さい頃から、家に父が居る時間はほとんどありませんでした。父の仕事は、野球の審判だと思っていたぐらいです。

春夏の野球シーズンはもちろんの事、オフシーズンも技術指導等で忙しくしておりましたが、野球が無い日の父は、必ずと言っていいほど家族を食事に連れて行ってくれました。

アマチュアの審判員としての活動に没頭できたのは、それを支えた家族、特に母のおかげであると生前父がよく言っておりました。

規律正しく厳格だった父は、家族の会話の中でも野球の話はほとんどしませんでした。自分の判定は絶対だと自信を持って話をしている姿は印象的でした。

私たち兄弟が成人し父の会社に入社した頃、父も審判としての現役は降りて大会役員になっておりましたので、よくお酒を飲み、歌い、いろいろな話をしてくれました。その頃から父の人間性を私もわかってきたのかと思います。

現役時代は高校・大学・社会人野球に携わり、現役を退いてからも各連盟団体の役員、各県の審判講習、企業の野球大会、少年野球、草野球、また頼まれれば講演に駆け付ける等、本当に野球人としての父の人間性の妻さを見てきました。

そんな、生前の父の功績の品々は野球殿堂博物館に寄贈させていただきました。

今回の執筆にあたり、息子である私自身も実際父から担当した試合の話等を聞いた事がなく、どちらかという担当した試合内容は外部情報から確認しているほどです。野球人としての郷司 裕は家庭の中でも黒子だったのかもしれない。

天国で父も野球人としての最高の荣誉に喜び感謝していると思います。

重ね重ねにはなりますが、今回野球人としての最高峰で名誉ある野球殿堂入りに関しまして、明治大学をはじめ全国野球審判員の方々、高校、大学、社会人各野球連盟、団体の方々、そして父と同じく野球を愛して止まない全国野球ファンの皆様方に深く感謝致します。



郷司 裕氏 殿堂入り特別展 (7月9日まで)

## 2017年度 夏休み企画

### 「野球で自由研究！」

期 間：～8月31日(木)

会 場：図書室、企画展示室 ほか

野球には、歴史や野球用具、野球場など小・中学生の自由研究のテーマになるものがたくさんあります。当館では、今年も小・中学生の自由研究をサポートする「野球で自由研究！」を開催しています。企画展示室では特徴的な用具などを展示し、図書室では自由研究の参考になる歴史や用具、野球場などの資料をご用意して、お待ちしております。

スタッフがいますので、わからないことがあったら、なんでも聞いてください！



### ミニミニ実験コーナー



当館スタッフによる「ミニミニ実験コーナー」を、今年も行っています！

開催日：8月31日(木)までのうち、当館でイベントのある日を除く。

詳しくは、当館ホームページでご確認ください。

時 間：14：00～、15：00～（各回20分程度）

会 場：企画展示室

### 夏休み審判学校！

今年も夏休み審判学校開校！  
プロ野球の審判員と一緒に、君も審判員になろう！

日 時：8月11日(金) 14：00～  
（1時間30分程度）

会 場：イベントホール

講 師：野球規則委員、前NPB審判長  
井野 修 氏  
審判技術委員 山崎 夏生 氏  
審判技術委員 渡田 均 氏  
審判技術委員 平林 岳 氏  
審判技術委員 栄村 孝康 氏

対 象：審判に興味のある小・中学生

協 力：一般社団法人 日本野球機構

### 夏休み特別企画



## バット製作実演

今年もバット削りの実演を開催します！  
ミズノ株式会社のご協力により、クラフトマンによるバット製作の実演に加え、バットにまつわるいろいろな質問にもお答えします。自由研究の題材におすすめのイベントです。

日 時：8月19日(土)、20日(日)  
10：30～11：30、12：00～13：00、  
14：30～15：30 予定

会 場：イベントホール  
協 力：ミズノ株式会社

## 夏休み特別企画



## グラブ先生の夏休み特別授業

グラブのできるまで、その構造、使い方、お手入れの仕方など、ここでしか聞けない話がたくさん！  
グラブメンテナンスの専門家がわかりやすく教えてくれます。

日 時：8月24日(木) 11：00～、13：30～、15：00～（各回30分程度）

会 場：企画展示室

協 力：ミズノ株式会社

※当日ご入館いただければ、ご覧いただけます。

## 平成29年野球殿堂入り特別展 伊東 勤氏、星野 仙一氏、平松 政次氏

期 間：～10月1日(日)

会 場：野球殿堂ホール

伊東氏、星野氏、平松氏の野球殿堂入りを記念して、「平成29年野球殿堂入り特別展」を開催しています。3氏ゆかりの資料や写真等を展示し、経歴などをご紹介します。



## 第2回 野球で自由研究！コンテスト

野球をテーマに自由研究をしている小学生を対象に、自由研究のコンテストを開催します。  
応募者全員に参加賞がありますので、ぜひご応募ください。

※詳しくは、ホームページをご覧ください。



昨年の表彰式の様子

## 野球殿堂博物館 トピックス (2017年5月~7月)

### 5月31日(水) 殿堂入り8氏が来館!

5月31日(水)、文京区内で、学生野球資格回復制度のNPBプロ研修特例の講習が開催されました。これに先立ち、受講した野球殿堂入りの方々が来館しました。

写真左より、佐々木 主浩氏、北別府 学氏、東尾 修氏、熊崎 勝彦理事長、中西 太氏、村田 兆治氏、山田 久志氏、平松 政次氏、古田 敦也氏。



### 6月24日(土)

#### 中日 荒木 雅博選手来館! 2000安打達成時使用用具寄贈

2017年6月3日の楽天戦(ナゴヤドーム)にて、中日の荒木 雅博内野手が史上48人目の通算2000安打を達成しました。

6月24日(土)、巨人対中日戦の試合前に荒木選手ご本人にご来館いただき、記録達成時使用バットとスパイクをご寄贈いただきました。

これらの資料はエントランスホールにて展示しています。ぜひご覧ください。

※展示場所は変わる場合がありますが、今シーズン中は館内で展示いたします。

### 6月25日(日) 網島 理友氏トークイベント

#### “国際試合事始めからWBCまで”

当博物館で開催していた企画展「大ユニホーム展 日本代表編」(会期7/2まで)では、1931年の日米野球から2017年WBCまでの歴代日本代表のユニホーム25点、帽子11点を展示し、その歴史を紹介しました。本展開催を記念して、プロ野球意匠学研究者・網島 理友氏をお迎えし、野球日本代表のユニホームの変遷をテーマに、トークイベントを開催しました。



### 7月2日(日)

#### 東京六大学野球連盟新人研修会

東京六大学野球連盟に所属する各大学の野球部新入部員約230名が野球殿堂博物館を見学しました。見学は、同日東京大学で開催された「東京六大学野球連盟 合同新人研修会」の後に行われました。



### 7月22日(土)

#### 「東京の高校野球」関連企画 荒木 大輔氏トークイベント



コーナー展「東京の高校野球」関連企画として、早稲田実業OBの荒木大輔氏によるトークイベントを開催しました。選手権大会の東・西東京大会の見どころや注目校・選手、荒木氏ご自身の高校時代の思い出などがご披露されました。

※コーナー展「東京の高校野球」は8月31日まで開催しています。

## 球団デー

毎年恒例の「球団デー」を今年も開催しております。各球団マスコットの来館もあります。  
\*詳しくは当館ホームページをご覧ください。



4月21、22、23日 阪神



4月25、26日 楽天



5月12、13、14日 日本ハム



5月16、17、18日 ヤクルト



5月26、27、28日 広島



6月2、3、4日 オリックス



6月16、17、18日 ロッテ



7月1、2日 DeNA



7月3、4日 西武

6月2、3、4日 ソフトバンク  
7月31日、8月1日 中日  
8月4、5、6日 巨人

\*ソフトバンク、中日、巨人の球団デーのようすは、次号でご報告いたします。

## 博物館からのお知らせ

### ▶ 理事会

- ・ 5月16日 第2回理事会
- 議題 1. 平成28年度事業報告・決算報告・監査報告の承認について
- 2. 評議員候補者の承認について
- 3. 会議日程等の承認について
- 報告 1. 理事長及び業務執行理事の職務の執行状況について
- 2. 野球殿堂博物館リニューアル検討委員会・コンサルタント業務について
- 3. 夏休み期間の文京区と船橋市在住の小学生の招待について
- 4. その他
- ・ 6月5日 第3回理事会
- 議題 1. 理事長の選定について
- 2. 業務執行理事の選定について
- 3. 第2回評議員会(みなし決議)開催について
- 4. 次回理事会について

### ▶ 評議員会

- ・ 6月5日 定時評議員会
- 議題 1. 平成28年度貸借対照表及び損益計算書の承認について
- 2. 定款変更の承認について
- 3. 理事及び監事の選任について
- 報告 1. 平成29年度事業計画及び収支予算について
- 2. 理事長及び業務執行理事の職務の執行状況について
- 3. 野球殿堂博物館リニューアル検討委員会について
- 4. 職員の退職並びに採用について

### ▶ 訃報

2003年野球殿堂入りの、上田 利治氏が7月1日に逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

### ▶ 販売中

●ポストカード 1枚100円(税込)  
今年殿堂入りされた伊東 勤氏、星野 仙一氏、平松 政次氏のポストカードが新しく加わりました。ご来館の記念に、ぜひお求め下さい。



●編集後記 今年は「野球で自由研究!」のイベントが盛りだくさん。自由研究は野球でやりたい!!という小・中学生のみならず、ぜひいらして下さい。紙面の都合上「知ってほしいこんな資料」「こんにちは図書室です」「コラム博覧/博楽」は休載します。

### ●第99回全国高校野球選手権大会公式グッズ



暑い夏を盛り上げる高校野球の季節がやってきました。第99回大会の会場で販売されています公式グッズを、当館でも販売いたしております。公式グッズで、高校野球を熱く応援してみませんか。

### ●野球守

「野球守」を発売しています!「ケガをしないよう」、「野球が上手になるよう」、「野球の試合に勝てるよう」等、みなさまの野球を応援するお守りで、袋の中にはグローブの革で作られたお守りが入っています。  
※郵送希望の方は、「野球守希望」と明記の上、代金(野球守代+送料)を現金書留で当博物館までご送付下さい。

- ・ 野 球 守 : 1体800円
- ・ 梱包送料 : 1体~10体まで100円

1体800円(税込)



(11体以上の場合、当博物館までご連絡下さい)

**博物館のご案内**

場 所 東京ドーム21ゲート右  
開館時間 3月1日~9月30日 AM10時~PM6時(入館は閉館の10分前まで)  
10月1日~2月末日 AM10時~PM5時(30分前まで)

入館料 大 人 600円(500円) ( )は  
高・大学生 400円 20名以上の団体  
小・中学生 200円(150円)  
65歳以上 400円

休館日 月曜日(祝日、東京ドームでの野球開催日、春・夏休み中は開館)  
年末年始(12月29日~1月1日)

### 《8月・9月・10月の休館日》

9月 4日・11日・25日 ※9月3日(日)まで休館日はありません。  
10月 2日・16日・23日・30日

### 野球殿堂博物館 Newsletter 第27巻 第2号

2017年8月3日発行(年4回発行)  
編集・発行 公益財団法人 野球殿堂博物館  
(旧・財団法人 野球体育博物館)  
〒112-0004 東京都文京区後楽1-3-61  
Tel 03(3811)3600 Fax 03(3811)5369  
http://www.baseball-museum.or.jp/



# The Baseball Hall of Fame and Museum

## 公益財団法人 野球殿堂博物館

### リレー随筆(67)

#### 実況アナウンサーの考え

競技者表彰委員会幹事 楠 淳生 (朝日放送アナウンサー)

私は朝日放送で野球実況を担当しているスポーツアナウンサーです。野球の盛んな和歌山県で生まれ、中学までは坊主頭で野球部、故・尾藤 公監督率いる箕島高校に憧れました。入社してからは野球の奥深さと同じ故郷の大先輩・ノンフィクション作家・佐山 和夫さんに教わりました。特に佐山さんには、「野球を実況するなら母国のメジャーを知らないとかんぞ」と激励を頂き、故・パンチョ伊東さんの紹介で1994年にシアトル・マリナーズに同行するチャンスを得ました。アメリカのコメンテーターの仕事を研修し、1イニングだけですが英語でテレビ実況をさせて貰いました。やはり、野球とベースボールはかなり別物でした。

この機会に実況アナウンサーとして、野球をどう捉え、どう即時描写で表現しようとしているかをお話しさせていただきます。ラジオやテレビは得点とイニング、誰と誰の対戦かわかれば良いとおっしゃる方もいるかもしれませんがプロのサービスはこうありたいと考えています。

野球は27個のアウトを取り合う競技です。(静)と(動)が交互に訪れ、アウトを巡って間合いがあります。野球は実にファンにとって、放送にとって都合の良い球技です。ワクワク出来る間合いが存在するからラジオやテレビにフィットして、これほどの隆盛をみたのではないのでしょうか。大相撲も間合いに関しては似通った存在です。(静)は投手が投げるまでの時間の間に、どの球種を投げるか? 守備位置はどうか? 攻撃はどうか? などの思考を描写します。データやセオリーなどをささみます。観察眼が必要です。(動)は投手が投げて打者が打ち、ヒットもしくはアウトになるまでの一連のアクションを反射神経よく描写します。私は(予測実況と素描)と呼びます。若いアナウンサーが一人前によどみ無く(素描)出来るまで3年くらいはかかります。

さらに、ワンプレー・ワンプレーの結果が出ると、その結果が何らかの関連性や累積性を持っていることを発見することが多々あります。(累積実況)と呼びます。例えば79年の夏、箕島高校が2度も同点本塁打が出た時の2度目は「又です。又、出ました。尾藤スマイルで二死走者無しから二度も追いつく奇跡が起きました。」のように累積で描写された方が鳥肌が立ちます。単なる「同点ホームラン!」では、累積性ができません。メジャーにおいて松井 秀喜がペドロ・マルチネスのハードカーブを何打席にもわたって執念深く狙っていった過程を描写すれば、単に1打席、1打席が孤立しているのではなく、それぞれが繋がり、交わっていることが分りやすくなります。初回にエラーを犯した高校生が終盤に、それをとりかえすタイムリーを飛ばしたら、悔しさと喜びをセットで表現してあげるのが本当の所でありましょう。選手個々の沢山の物語が、どう交錯しているかが明らかになれば、本当に、野球が織りなす奥深さに迫ることが出来ます。私の場合は(予測実況・素描・累積実況)に時系列で整理・分類して喋ります。阪神タイガースと夏の高校野球の両方を1年、野球漬けでカバーする大阪の放送局は、ユーザーに手厚くサービス出来るように(静)の間合いを有効利用しようと考えています。

ベースボールにおける投手と打者の距離、塁間の距離は大変絶妙で、野球における偶然・必然の割合に影響を与え、ドラマチックな場面が度々起こり、プレーヤーにとっても観客にとっても(飽きない奇跡の球技)となっています。最後にPRさせていただきます。野球の面白さを表現するプロセスを拙著、彩流社『野球と実況中継』にまとめました。機会が有りましたらご批評を頂ければ幸いです。